

経営課題2

誰もが健康でいきいきと暮らし、
支えあうまちづくり

わくわく子育てフェスティバル



健康まつり



いきいき百歳体操
大交流会



めざすべき将来像（概ね10～20年間を設定）

- ・障がいのある方、高齢者や子どもを地域のみんなが互いに見守り、支えあう
- ・自らの健康に関心を持ち、健康寿命を延長する
- ・保育所、幼稚園などが充実し、安心して働くことができる

現状・データ

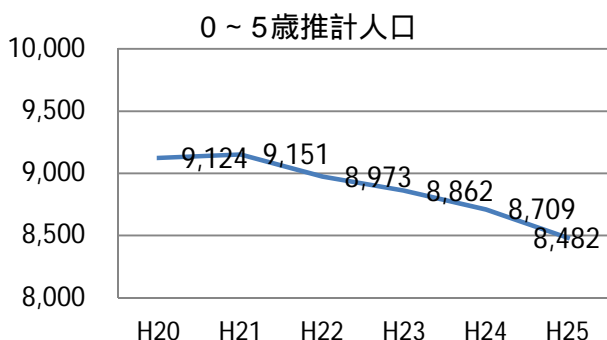
- ・城東区では人口はほぼ横ばいに推移している。
- ・出生数は平成23年度1,549人、平成24年度1,511人、平成25年度1,420人と減少傾向になっています。一方、平成12年の65歳以上人口は26,275人（16.6%）が平成23年には36,537人（22.1%）と高齢化が進んでいる。
- ・また、要介護認定者数や障がい手帳所持者数なども年々増加傾向にある。
- ・死亡原因では、男性・女性ともに悪性新生物（がん）が1位、以下、2位心疾患、3位肺炎と続き、男性では慢性閉塞性肺疾患（COPD）が9位となっており、今後死亡原因の上位になると推測されています。
- ・平成20年度以降、毎年、保育所の整備が進み保育所5か所、保育ママ2か所（H26 小規模保育へ移行）、認定こども園2か所、小規模保育3か所、その他、分園整備等により保育所入所児童数が拡充されています。

現状・データ

城東区の状況

子どもに関するデータ

区内子育て支援機関(H26.10現在)		保育所在籍児童数		私立幼稚園在籍児童数	
民間保育所	19	平成24年4月	3,403	平成24年5月	1,399
公立保育所	4	平成25年4月	3,476	平成25年5月	1,477
認定こども園	2	平成26年4月	3,533	平成26年5月	1,427
小規模保育	3	保育所待機児童数		市立幼稚園在籍児童数	
私立幼稚園	7	平成24年4月	67	平成24年5月	377
市立幼稚園	2	平成25年4月	28	平成25年5月	366
つどいのひろば	2	平成26年4月	15	平成26年5月	326
子育て支援センター	2	子育て支援室相談件数(虐待相談)		DV相談件数	
子ども・子育てプラザ	1	平成23年度	502(90)	平成23年度	64
		平成24年度	513(101)	平成24年度	64
		平成25年度	679(213)	平成25年度	76



高齢者に関するデータ

	要介護認定者数(内訳)			
	23年3月	24年3月	25年3月	26年3月
要支援1	1,676	1,784	2,006	2,174
要支援2	885	857	888	1,101
要介護1	1,277	1,428	1,508	1,428
要介護2	977	1,032	1,026	1,165
要介護3	844	828	853	859
要介護4	913	918	942	985
要介護5	723	763	755	747

高齢者虐待件数	
平成23年度	32
平成24年度	25
平成25年度	53

障がい手帳に関するデータ

身体障害者手帳所持者		療育手帳所持者		障害者(精神)手帳所持者	
平成24年3月	6,540	平成24年3月	1,155	平成24年3月	1,155
平成25年3月	6,707	平成25年3月	1,181	平成25年3月	1,235
平成26年3月	6,771	平成26年3月	1,241	平成26年3月	1,359

現状・データ

城東区の状況

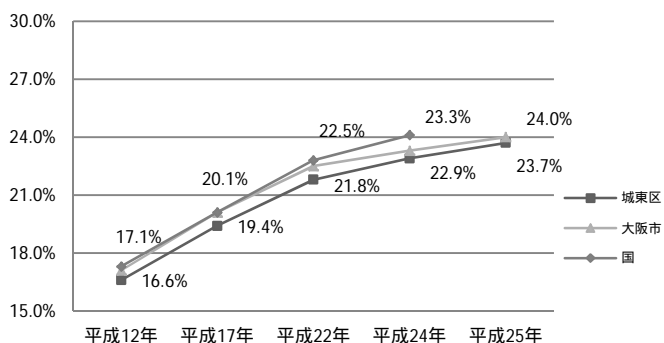
健康に関するデータ

	男性		女性	
	H19	H24	H19	H24
城東区	14.1	17.7	0	7.0
大阪市	19.5	20.5	7.5	8.2
国	17.9	20.7	5.3	5.4

	男性		女性	
	H20	H24	H20	H24
城東区	32.1	27.8	9.1	9.1
大阪市	33.4	29.9	10.3	10.1

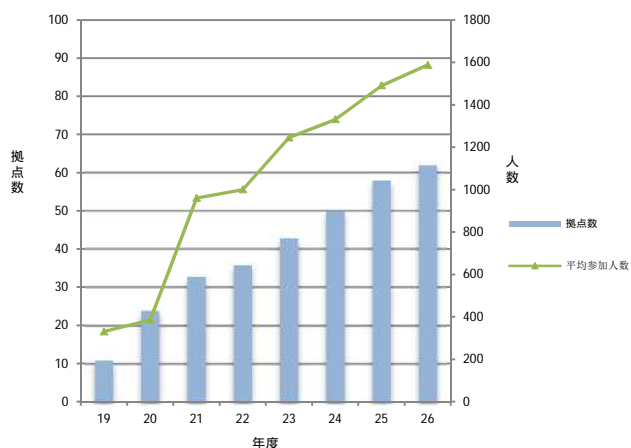
(大阪市国民健康保険特定健診結果)

高齢化率の年次推移



資料: H12,17,22は「国勢調査」、H24,25は大阪市都市計画局「大阪市の推計人口」

いきいき百歳体操実施拠点数及び参加者数



区民モニターアンケート 「いきいき百歳体操」
認知度 (60歳以上)
H23 36.9% H26 39.3%

死亡原因【男】

順位	死因	死亡数(人)	%
1	悪性新生物	300	35.2
2	心疾患	106	12.4
3	肺炎	83	9.7
4	脳血管疾患	63	7.4
5	不慮の事故	30	3.5
6	肝疾患	26	3.0
7	自殺	23	2.7
7	腎不全	23	2.7
9	COPD	18	2.1
10	糖尿病	13	1.5
	その他	168	19.7
合計		853	100.0

死亡原因【女】

順位	死因	死亡数(人)	%
1	悪性新生物	186	26.9
2	心疾患	107	15.5
3	肺炎	70	10.1
4	脳血管疾患	61	8.8
5	不慮の事故	25	3.6
5	腎不全	25	3.6
5	老衰	25	3.6
8	高血圧性疾患	21	3.0
9	自殺	16	2.3
10	糖尿病	10	1.4
	その他	145	21.0
合計		691	100.0

悪性新生物(がん)死亡の部位内訳

平成23年	がん	食道	胃	大腸	肝及び胆管	胆のう	膵臓	気管・肺	乳房	子宮	白血病	その他
男	300	10	53	42	39	11	16	73	0	—	5	51
女	186	2	23	36	20	7	14	30	14	10	3	27

分析

- ・ 高齢者推計人口、要介護認定者数、障がい手帳所持者が増加傾向にあり、新しい住民の増加、高齢化が著しい地域など地域差に加え、核家族化、生活様式の多様化など社会状況の変化により、児童・障がい者・高齢者への虐待、いじめ、DV、ネグレクトなど多様な問題が発生している。
- ・ 男性・女性ともに悪性新生物（がん）による死亡数が1位となっている。また、今後増加すると推測されている慢性閉塞性肺疾患（COPD）が男性では9位となっているが、認知度は低い。
- ・ 城東区では、保育所の整備が毎年進んでおり待機児童は減少している。

課題

- ・ 誰もが安心して住み続けることができる地域社会の実現に向けた、地域住民や、様々な団体との協働により、高齢者や障がいなど、支援を要する方、こどもなど、地域ぐるみでの見守りなど地域の活動の支援
- ・ 悪性新生物（がん）による死亡数が1位となっているが、がん検診の受診率は低く、自らの健康に関心を持つ意識の醸成
- ・ 待機児童は減少しているが、今後もマンションの建設などがすすみ、保育ニーズの増加や潜在的な保育ニーズへの対応

窓口 ちょこっと！案内コーナー

すべての人が住みなれた地域で 安心して暮らせるまちへ！



障がいのある方も、高齢の方も、すべての住民が住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりのために、各小学校区に地域福祉支援員を配置しています。

また、災害の時に手助けが必要な方の情報を収集し、普段からの関係づくりや、支援体制づくりなどを行っています。

憩の家を中心に活動していますので、気軽に相談してください。

問合せ 保健福祉課(福祉) 電話:06-6930-9857

【戦略2 - 1】**子育て世帯が安心して、生み育て、
働くことができるまちへ****めざす成果**（概ね3～5年間を設定）

《めざす状態》

- ・子育て支援の情報が行き届いている
- ・保育所、幼稚園などが充実し、待機児童がない

《成果目標》

- ・子育て支援の情報が行き届いていると感じる区民の割合 平成31年度末までに60%以上（区民モニター）
- ・待機児童数 平成31年度までに0にする。

戦略

- ・既存の情報媒体の見直し、拡充や、新規事業『絵本で子育て！みんなで子育て！』を通じて情報の発信を強化する。
- ・また、新規事業による、地域での身近な相談拠点の開拓や、子育て関係機関の連携を強化する。
- ・マンション建築などの動向を注視し、潜在的な保育所ニーズも把握した、保育所整備にむけた取り組みを行う。



戦略2 - 1の具体的取組

【2 - 1 - 1 『絵本で子育て！みんなで子育て！』】

新規

- ・大絵本展、読み聞かせ会などのイベントの開催（1回以上）
- ・気軽に立ち寄れる場所「絵本カフェ」の開設
- ・子育てサロンの活動支援
- ・子育て関係機関などとの連携の強化

H25 決算額	- 千円	H26 予算額	- 千円	H27 予算額	2,409千円
------------	------	------------	------	------------	---------

【業績目標】

事業の認知度40%以上
（区民モニター）

【撤退基準】

40%に満たない場合は再構築

【前年度までの実績】

27年度新規事業

【2 - 1 - 2 総合的な子育て支援情報発信事業】

- ・子育て支援情報誌「わくわく城東」の発行（4,000部）
- ・城東区子育てマップの作成（10,000部）
- ・子育てサロンの活動支援
- ・子育て関係機関などとの連携の強化

H25 決算額	1,457千円	H26 予算額	1,803千円	H27 予算額	1,803千円
------------	---------	------------	---------	------------	---------

H26までは、「なにわっすくすくスタート事業」および「子育て情報誌『わくわく城東』」として実施（予算額等は合計）

【業績目標】

子育ての情報が発信されていると感じている区民の割合 50%以上（区民モニター）

【撤退基準】

40%に満たない場合は再構築

【前年度までの実績】

- ・区民モニター：平成26年度実績46.6%
- ・子育て情報誌「わくわく城東」を4,000部発行、配布拠点約200か所
- ・子育て支援マップを10,000部発行

【2 - 1 - 3 保育ニーズに対応した入所枠の確保】

- ・マンション建築計画の把握など保育ニーズに応じた、保育所整備の必要地域の選定や事業者誘致
- ・小規模保育事業の充実

H25 決算額	- 千円	H26 予算額	- 千円	H27 予算額	- 千円
------------	------	------------	------	------------	------

【業績目標】

小規模保育事業所の開設

【撤退基準】

未開設の場合は、公募の方法等を見直し

【前年度までの実績】

- ・H26.4 認定こども園開設
- ・H26.6 認可保育所開設
- ・H26 小規模保育事業所開設
- ・H27.10 認可保育所開設に向けた事業者の公募



用語解説

『絵本で子育て！みんなで子育て！』

絵本を通じ、読み聞かせなど親子のふれあいや、子どもの活字への親しみ、情緒を育むとともに、区内の子育て支援機関や地域での子育て活動との連携により子育て支援の輪を広げることが目的とした事業です。

子育て中のママが絵本をきっかけに子どもと一緒に楽しみ、先輩ママに身近な相談ができる場づくりなど、子育て支援のための取組を実施していきます。

【戦略2 - 2】

高齢者、障がい者、子どもを地域が互いに見守り、支えあうまちへ

めざす成果（概ね3～5年間を設定）

《めざす状態》

- ・地域住民、NPO、企業などさまざまな福祉の担い手の協働により、地域で支え合う活動ができている状態
- ・高齢者、障がい者など、支援を要する方を地域で把握できている状態。

《成果目標》

- ・地域でさまざまな福祉の担い手の協働により、支え合う活動ができていると感じている人の割合 平成31年度末までに60%以上（事業アンケート）

戦略

- ・地域の特性を活かした、アクションプランを推進し、より地域の実情に応じた地域福祉システムを構築する。
- ・これまで地域で活動への関わりが薄かった人や地域で働く人など新たな地域福祉の担い手の育成を支援する。

戦略2 - 2の具体的取組

【2 - 2 - 1 (仮称) 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業】

新規

- ・調査員による要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備
- ・見守りネットワーク（4名配置）による孤立世帯等への専門的対応
- ・見守りネットワークによる徘徊者保護の強化

対象者は初年度に高齢者から始め、2年目に障がい者、3年目に難病患者へと順次拡大する。

【区CM事業（福祉局所管）】

H25 決算額	- 千円	H26 予算額	- 千円	H27 予算額	29,627千円
------------	------	------------	------	------------	----------

【業績目標】

対象高齢者の70%の名簿整備を行う

【撤退基準】

50%に達しなければ実施手法を再構築する

【前年度までの実績】

27年度新規事業

【2 - 2 - 2 地域支援事業（ソーシャルインクルージョン推進事業～地域全体で考え支え合う地域福祉システムの構築～）】

- ・地域、NPO などさまざまな地域福祉の担い手との協働や、地域の課題解決に向けた取り組みなど、地域ぐるみで、きめ細やかな地域福祉活動が継続できるよう支援する。（地域サポーター、推進コーディネーターの配置）
- ・地域福祉課題の解決と新たな地域福祉の担い手を育成するため、小学校下単位で地域福祉に関する専門的な講座を開催する。

H25 決算額	18,400千円	H26 予算額	23,114千円	H27 予算額	23,114千円
------------	----------	------------	----------	------------	----------

【業績目標】

講座への参加者が区全体で320人以上

【撤退基準】

参加者が320人に達しなければ事業を再構築する

【前年度までの実績】

- ・地域福祉ビジョンを策定
- ・地域サポーター、推進コーディネーターを各校下に配置。（平成25年度相談対応件数607件、地域見守り活動951件）
- ・地域課題解決等のため、校下ごとの地域福祉の担い手との意見交換。（平成27年3月末現在7校下）



用語解説

地域支援事業

（ソーシャルインクルージョン推進事業～地域全体で考え支え合う地域福祉システムの構築～）

要援護者を含む全ての地域住民が平常時から繋がりを深めながら災害時に備えるとともに、地域の実情に応じた課題を解決できる新たな地域福祉システムの構築をめざした事業です。

各校下に地域福祉のスペシャリストとして地域福祉支援員を配置しており、「ふれあい喫茶」など地域での活動へも参加するなど、要援護者を含む全ての地域住民が平常時から繋がりを深めています。

【戦略2 - 3】

だれもが自らの健康に関心を持ち、 いきいきと暮らせるまちへ

めざす成果（概ね3～5年間を設定）

《めざす状態》

- ・ 区民が自らの健康に関心を持ち、がん検診等の制度を知り、自ら受診する状態
- ・ 区民が介護予防に取り組みたいと思ったときに、身近に参加できる場所がある状態

《成果目標》

- ・ 大腸がん検診地域受診率 平成28年度末までに15%以上（地域受診率=職場での検診機会のある者等を除いたもの）
- ・ COPDの認知度 平成31年度までに40%以上（区民モニター：平成26年度実績16.7%）
- ・ 60歳以上の高齢者の「いきいき・かみかみ百歳体操」の認知度 平成31年度までに50%以上（区民モニター：平成26年度実績39.3%）

戦略

- ・ 医師会・医療機関や地域、各種団体等との連携により啓発、受診勧奨を強化する。
- ・ 多様な広報媒体により幅広く区民に周知するとともに、健診受診者や、地域で実施する健康に関する講座等の参加者を対象に啓発する。
- ・ 身近な場所で介護予防に取り組める環境を整備する。



用語解説

区CM(区シティ・マネージャー)

区役所に分掌されていない事務のうち区長に決定権を持たせる事務について、行政区単位で、各局横断的に総理し局長以下を指揮監督する新たな職(区シティ・マネージャー)を設置して、区長をもって充てているもの。(平成24年度より)

なお、この新たな職は市規則で設置しています。(内部組織を持たない単独の職であるため、地方自治法第158条第1項後段の「長の直近下位の内部組織」には該当しないと解されます。)

戦略2 - 3の具体的取組

【2 - 3 - 1 がん検診受診率の向上】

- ・ 医師会・医療機関と連携して、大腸がん検診に重点を置いた、がん検診の啓発と受診勧奨を行う。
- ・ ポスター（1,200枚）や啓発物品を用い、地域や各種団体、健康講座受講者等への啓発、受診勧奨を行う。

H25 決算額	- 千円	H26 予算額	230千円	H27 予算額	200千円
------------	------	------------	-------	------------	-------

【業績目標】

本市がん検診制度の認知度70%以上（区民モニター）

【撤退基準】

60%を下回った場合は再構築

【前年度までの実績】

- ・ 区民モニター：平成26年度実績68.2%
- ・ 「保健事業の案内」を保健担当窓口、健診会場等に設置。各種イベント時や区転入者に配布。
- ・ 医師会との連携した啓発について調整中。

【2 - 3 - 2 COPDの理解と認知度の向上】

- ・ ポスター、チラシ、ホームページ等を活用した周知
- ・ 地域で実施する健康に関する様々な講座等で、COPDについて啓発
- ・ 健康まつり（1回）や、特定健診時・健康キャラバン（15回）等での啓発、COPD質問票での危険度チェックと肺年齢測定の実施
- ・ 医師会、介護事業者等の関係機関と連携した啓発

H25 決算額	448千円	H26 予算額	99千円	H27 予算額	97千円
------------	-------	------------	------	------------	------

【業績目標】

COPD 質問票での危険度チェック 500人以上

【撤退基準】

500人を下回った場合は再構築

【前年度までの実績】

- ・ COPD啓発パンフレット作成、配布。
- ・ がん検診（8回）、健康まつり、健康キャラバン（4回）において、COPD 質問票チェック、肺年齢測定実施（予定含）
- ・ COPDの啓発協力依頼。健康まつりでの取組をメディアにより放映。
- ・ 会議・研修等を活用した、関係機関へ周知
- ・ COPD 質問票チェック 597人（H26.9末現在）



用語解説

COPD (Chronic Obstructive Pulmonary Disease :慢性閉塞性肺疾患)

以前は、肺気腫や慢性気管支炎と呼ばれていました。大気汚染やタバコの煙などの有害物資を長期間吸ったために肺に炎症が起きる病気で「肺の生活習慣病」と呼ばれています。

日本では死亡原因の10位になっており、今後死亡原因の上位になると推測されています。

適切に治療すれば、進行を遅らせ、寿命も延ばすことができますが、認知度が低く9割の方が、適切な診断や治療をされていないと言われています。

戦略2 - 3の具体的取組

【2 - 3 - 3 「いきいき・かみかみ百歳体操」】

- ・ポスター、チラシ、ホームページ等を活用した周知
- ・区内全拠点の交流会（年1回）実施による、現参加者のモチベーションの維持・向上と区民への周知
- ・現サポーターのスキルとモチベーションの維持・向上及び新サポーター養成のための取組（講座 年2回）
- ・「いきいき・かみかみ百歳体操」について、集合住宅の集会所など、新たな拠点での開催に重点を置いた取組

【業績目標】

「いきいき・かみかみ百歳体操」の拠点の増 5拠点

【撤退基準】

5拠点を下回った場合は再構築

【前年度までの実績】

- ・ポスター作成し、地域集会所、医師会、歯科医師会、薬剤師会、包括支援センター、集合住宅等に掲示依頼
- ・サポーター情報交換会（59人参加）
- ・いきいき百歳大交流会（11月予定）
- ・「いきいき・かみかみ百歳体操」6拠点増（平成27年3月末現在 全64拠点）
- ・サポーター475人（累計）

H25 決算額	355千円	H26 予算額	507千円	H27 予算額	425千円
------------	-------	------------	-------	------------	-------

